

< 川越市 >

ドキュメンタリー動画

『K-川越市議ハラスメント疑惑の真相』

第4回「反撃」が公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=wQhHc1euRYY&feature=em-uploademail>

2月21日、ハラスメント被害を訴える女性A氏を、ついに「提訴」した新井喜一氏・清水勉弁護士。同日行われた提訴記者会見の様子も収録された、本作「告発ドキュメンタリー第4回目」は、川合市政の闇に更に踏み込んだ迫力の内容となっている。

本紙も参加した、この提訴記者会見は、通常、この種の会見が行われる記者クラブではなく新井氏側が設けた場所で開かれたことで、清水弁護士と「女性A氏を無条件に信じる記者たち」の緊迫したやりとりが記録されている。日本の記者クラブでは、加盟メディア以外は立ち入れないため強いて記者クラブ外での会見を行ったのだが、テレビカメラを含めて十数社のメディアが詰めかけた。

印象的なのは、新井氏や清水弁護士に質問する記者らの顔つきだ。

「女性は被害者なのに、訴えるとはどういうつもりなんだ？」というような表情である。恐ろしいと言うべきか、記者たちはどこまでも「女性A氏は被害者」という前提を変えないままなのである。いま、どの新聞も部数は激減し、テレビも視聴者離れに歯止めがきかない深刻な状態だ。それこそ皮肉なことに、メディアは自身の危機を報じないため一般の人たちは、まだ新聞・テレビを「正しい報道」だと信じている。しかし、インターネットの利用者はもはや、新聞やテレビ報道の真実などないことを知っている。

ネット上の新井氏バッシングの無責任なコメントも、ネット上に転載された新聞・テレビの情報を信じているからである。メディアから転載されている情報は、新聞とテレビとまったく同じなのだから情報価値は広告以下だということを、ネット利用者でも理解できていない者が多い。

新井氏の提訴を受けてか、清水弁護士のもとには有名ネット番組からの出演オファーも来ているという。いよいよこの問題で「川合城」は防戦に追われることになるだろう。